

はじめに

コロナ禍により、3年以上にわたって学校の教育活動が様々な影響を受けてきました。例えばグループで机を合わせて議論を交わしたり、身体と心を寄せ合って仲間とともに学校行事に取り組んだりするなど、これまで大切にしてきた生徒の学びの場が大幅に制限されてきました。一方、GIGAスクール構想に基づくタブレット端末の普及に伴い、授業での効果的な活用が急務となり、授業スタイルや課題の提示、意見交流の方法にも変化が生じました。このような中、地域の拠点校として先導的な教育研究を行うという歩みを一時も止めることなく、本校の重要な役割と認識して教育実践を続けてきました。三重大学教育学部の附属学校という強みを生かし大学との連携を進めながら、学習指導要領が謳う社会に出てからも学校で学んだことを生かせる力の育成を念頭に置いて、研究テーマに関する検討と実践を行っています。

今次の研究主題は、前次から引き継ぎ「社会の変化に対応できる生徒の育成」とし、学習指導要領総則に示された三つの柱の育成を実現するため、教科横断的に生徒の資質・能力の育成を図るべく「SDGsを核としたカリキュラム・マネジメントの実現」を副題として設定しました。教科の学習で得た力を総合的な学習の時間(本校では「STEP」と呼ぶ)で生かし、総合的な学習の時間で得た力を教科の学習で生かすという、往還型のカリキュラムを通して生徒の将来に生きる資質・能力の育成を図る試みです。前次研究で設定した「なぜそうなのか」を考える力など6つの育成したい資質・能力に、これらを下支えする「他者と協力する力」「思いや考えを他者に伝える力」を新たに加え、8つの資質・能力をバランス良く育成することを目指しています。

「予測困難な時代」と言われて久しく、社会のあり方が急速な変化を見せていますが、折しもChatGPTをはじめとする生成AIの急速な進展によって、今後ますます私たちの価値観や教育のあり方に大きな変化をもたらすことは疑いの余地もありません。本校が育成を目指す資質・能力は、これからの新しい時代に求められる「生きる力」に繋がるものと確信しています。教職員一同、このような思いで日々の教育活動に一生懸命取り組んでいます。まだまだ不十分な点も多くあろうかと存じます。今回の公開研究会と本冊子をご覧いただき、その成果と課題について多くの皆様から率直なご意見やご質問を頂き、さらなる改善・充実のためにご指導いただければ誠に幸いです。

なお、公開研究会では國學院大學の田村学先生にご講演いただきます。長年に渡る教育へのご造詣の深さに触れさせていただくとともに、カリキュラム・マネジメントの本質についてご示唆いただくことは大いなる喜びです。最後になりましたが、今次研究を進めるにあたり、授業検討会等を通じて度重なるご助言をいただきました本学教育学部の先生方、公開研究会において助言者、司会者を務めていただく諸先生、これまで共に本校の研究を推進してきた転出教員の皆さんに深く感謝申し上げます。また、本研究会を開催するにあたりご支援いただきました三重県教育委員会、津市教育委員会、三重県小中学校長会、三重県教職員組合に対し厚くお礼申し上げます。

校長 山口 勉